

CAR No.36

Beyond

スーパーFJ  
アルビレックス・レーシング・チーム  
PRESS RELEASE  
2011/5/8

ALBIREX-RT

スーパーFJ 鈴鹿シリーズ 第3戦

## 大類選手ポイント獲得！！

5月6日(金) フリー走行

1レース落ちの中古タイヤで4本走行した。  
S字コーナーを重点し、タイムが早い他車に引張ってもらい、向き変えのポイントやラインを見ながら走行した。1本目のタイムは" 54.23"。2本目、3本目はタイムダウンしたが、平均的にタイムを刻めるようになった。4本目のタイムは" 54.16" で今までの自己ベストを出した。

5月7日(土) フリー走行

引き続き中古タイヤを使用し3本走行した。この日は2コーナーとショートカットに注目した。両コーナー共に上り坂と下り坂がありオーバーアンダーが極端に出やすかった。なのでアクセルやブレーキでの荷重調整やステアリングのきり方や角度に集中した。1本目のタイムは" 54.00" で自己ベストを出した。2本目、3本目は廃タイヤ寸前までできていてタイムダウンしてしまったが、タイムアップに繋がる収穫があった。

3月8日(日) 予選

参加台数が31台と多かったのでA組(16台)とB組(15台)に分かれて行われた。自分はB組となった。クリアラップをとるためにピットレーンを最後に出た。ニュータイヤでの車のフィーリングが別物で練習で得たものをあまり引き出す事ができなかった。数周し"53.63"を出し自己ベストを更新したが、その後はタイムが伸びず、B組7番手となった。スターティンググリッドはA組、B組のタイムは規定により合算されず、13番手で奇数列(進行方向左側)となった。

決勝

オープニングラップの1コーナーで1台パスし12番手になった。数周後、前の車(11番手)からクーラントが吹き出し、直に自分のヘルメットのバイザーに付着して前が見えなくなり、路面とタイヤは濡れてグリップダウンした。その後、前の車がピットインして11番手になったがペースを取り戻すことができずにいた。後の車(12番手のミストワークス)に追いつかれ、ホームストレートで並ばれて1コーナーの進入勝負となった。しかしブレーキングとボトムスピードは自分の方が勝っていたため順位を守ることができた。これを3週も繰り返された。レース中盤、クラッシュとリタイヤが多数出てセーフティカーが入った。これより9番手となった。3~4周したところで再スタートした。自分はタイミングを逃していまい前の車と少し離れてしまったが、周回を重ねるごとにペースを取り戻すことができた。その後6・7・8番手争いをしていてグループに追いついてきたが、チェッカーフラッグが振られ9番手となった。シーズンポイントを2ポイント獲得した。

中村監督コメント

良い流れに乗ったレースウィークでした。  
10Vの乗り方も徐々に理解できトップ10に入れました。  
これからは、トップ3を目指して努力して欲しいです。

 Nankai Plan Co.,Ltd.



鈴木会計  
埼玉・川口  
<http://www.tkcncf.com/sds>

P PLUS

Moty's  
www.lombard.com.cy

